

銘柄分析レポート：四季報秋号で気になった銘柄（2023年版）

1 はじめに

先月に発売された会社四季報秋号で個人的にありがたかったのが、通読を終えた後で、ふと目に留まった巻末の「ROEランキング」です。

と言うのも、長期保有に値する会社の条件として、バフェット氏をはじめとする一流投資家が「ROEが高いこと」をあげているからです。

四季報秋号では、今来期増益組に限定した予想ROEランキングとして、予想ROEが20%を上回る82銘柄を掲載していました。トップテンは下記の通りです。

- (1) カクヤスG (7686)
- (2) ベイカレントC (6532)
- (3) ポート (7047)
- (4) Mソリュソン (7033)
- (4) KeePer技 (6036)
- (6) ダブルSTD (3925)
- (7) 学究社 (9769)
- (8) カカクコム (2371)
- (9) JACリクルト (2124)
- (10) UTグループ (2146)

興味を持った銘柄だけでも調査を行い、次の点について自分なりの意見をまとめてみると勉強になると思います。

- ROEが高い理由は何か
- 今後も高いROEを継続できそうか

今回の銘柄分析レポートでは、この「ROEランキング」の中から2銘柄を取り上げます。